

幼児期のアトピー・喘息と中学期の全身悪化を経て通常生活へ戻った成人アトピーの経過 (26 歳 男性)

症例 ID：001-20-FT | 記録日：1996 年 12 月

1. 診断・治療前経過

幼稚園頃から関節部に湿疹があり、その後は喘息と花粉症に対して長期に内服治療を受けました。
中学 1 年の冬、額から顔、首、全身へ急速に皮膚症状が広がり、ステロイドを頻回に使用しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小児期の皮膚症状に外用薬を使用し、中学期には全身へステロイドを頻回に使用しました。
製品名	製品名は不明です。
強度	不明です。
使用期間	幼児期から中学期まで断続的に使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼稚園期	皮膚症状	関節部に湿疹がみられました。
学童期	喘息・鼻炎	喘息、鼻炎に対する内服治療を長期に続けました。
中学 1 年冬	急性悪化	額から顔、首、全身へ症状が急速に広がりました。
中学期	生活への影響	人目と発汗時のかゆみを避け、外出や運動を控える生活となりました。
松本医院受診後	治療開始	従来薬を中止し、煎じ薬、入浴、外用処置を開始しました。
治療経過中	皮膚変化	強い全身症状を経ながら皮膚状態が段階的に変化しました。
記録時点	経過後	アトピーを中心に生活する状態から離れ、通常の生活と仕事を送っていました。

4. ピーク時期

ピークは中学期、全身の強いかゆみと外見上の変化により、外出・運動・対人交流を避けるようになった時期です。

5. 困りごと

- 思春期に顔や全身の症状が強く、人前に出ることが困難でした。
- 発汗で強いかゆみが出るため運動を避け、学校生活にも影響しました。

6. 経過のまとめ

強い症状の時期を経て通常生活へ戻り、記録時点ではアトピー以外の目標を持って生活していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。